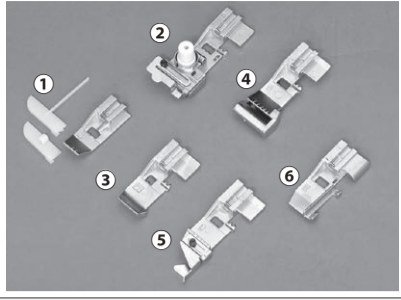


縫いのバリエーションが広がる **アタッチメント(押え金)セット** ご使用のてびき

最初に以下の6個の押え金が入っていることをお確かめください

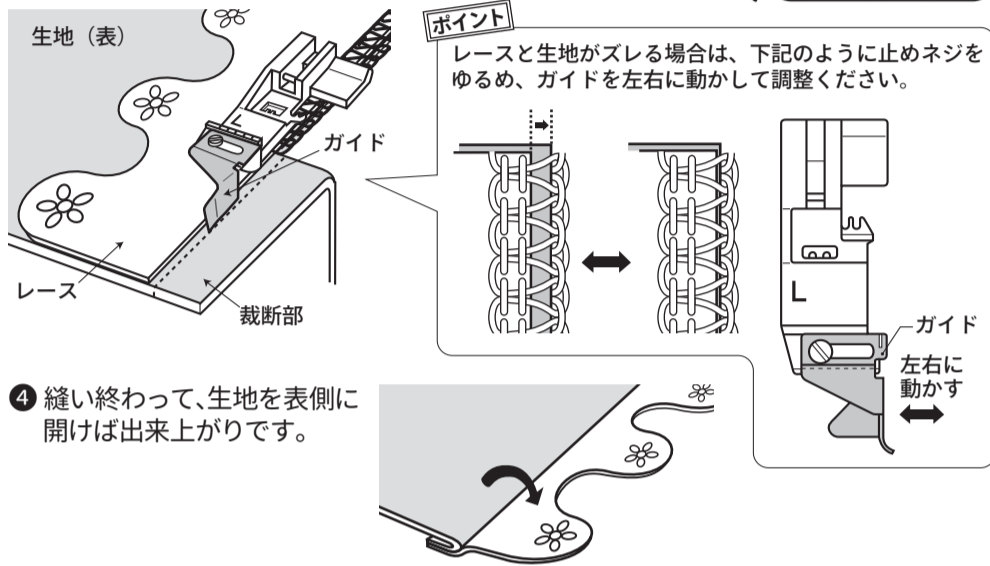
- ①ピンタック押え
- ②ゴム押え(テグス入れ兼用)
- ③パイピング押え5mm用
- ④セパレート押え
- ⑤レース押え
- ⑥ヒース押え



■ レース押え

押え金を『レース押え』に交換することによって、レース付けが簡単にできます。

- ① 1本針3本糸オーバーロックまたは2本針4本糸オーバーロックで縫います。
- ② 付いている押え金をはずして、『レース押え』を取り付けます。
- ③ 下図のように、レースを生地の取り付けたい場所に、中表にして置き、縫い合わせます。



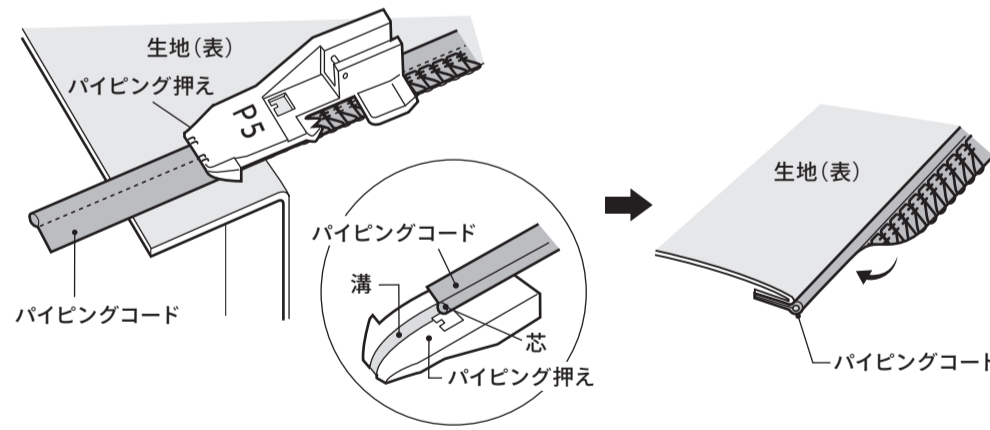
使用糸数	使用針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動レバー	作品・用途	操作上の注意とポイント
4本糸ロック	O-1 O-2 or O-2	A or B	M	3mm	N	裾や袖口、ポケット口の飾り、カーテンの裾飾りなど	レースの右端を押え金のガイドに沿わせて縫う。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

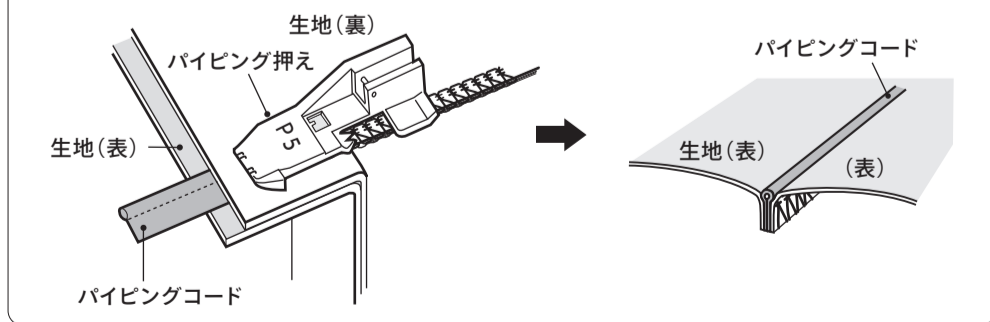
■ パイピング押え

縁かがりと同時に、市販のパイピングコード(芯の太さが5mmのもの)を縫うことができます。

- ① 2本針4本糸オーバーロックで縫います。
- ② 付いている押え金をはずして、『パイピング押え』を取り付けます。
- ③ 生地の上に“パイピングコード”を下図のように置きます。『パイピング押え』の裏側にある溝に“パイピングコード”の芯が入るようにセットして縫います。



■ 2枚の生地の中に“パイピングコード”をはさみ込む場合は、下記のようにします。

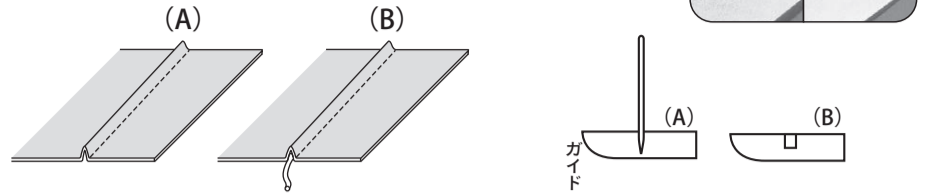


使用糸数	使用針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動レバー	作品・用途	操作上の注意とポイント
4本糸ロック	O-1 O-2	A	最大	3mm	N	洋服の切り替え、クッションなどの飾りとして	筒縫いの縫い終わりはパイピングコードを自然になめなめにゆき、縫い始めの縫い目に重なるようにそのまますぐに縫う(重なる部分の芯を少し抜いておくこと)

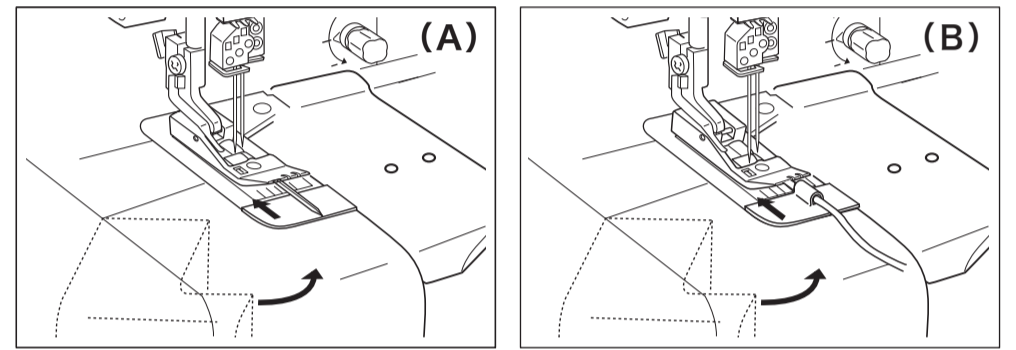
※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

■ ピンタック押え

押え金をピンタック押えに交換することによって、ピンタックが簡単に縫えます。ピンタックには生地を盛り上げる方法(A)と盛り上げた生地の中にヒモを縫い込む方法(B)があります。



- ① 2本針3本糸カバーステッチで縫います。
- ② C2とC3に針を取り付けます。
- ③ 針を一番下にしてから「カバーステッチ切換レバー」を左側にします。
※はずみ車を手で回して上ルーパーが固定されたことを必ず確認します。
- ④ メスをLOCK(固定)します。
- ⑤ メスカバーをチェーン/カバー用テーブルに付け替えます。
- ⑥ 『ピンタック押え』を取り付けます。
- ⑦ サイドカバーを開け、針板にガイドAまたはBをセットしてから、サイドカバーを閉じます。
■普通にピンタックをするにはガイドAを使用します。
■ピンタックの間にヒモを入れる場合はガイドBを使用し、ガイド穴に糸を1mmくらい通しておきます。
- ⑧ 押え金の下まで生地を入れてから縫い始めます。



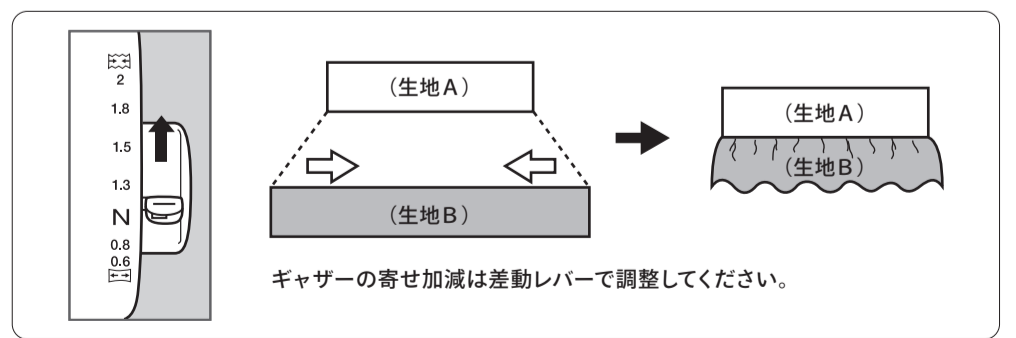
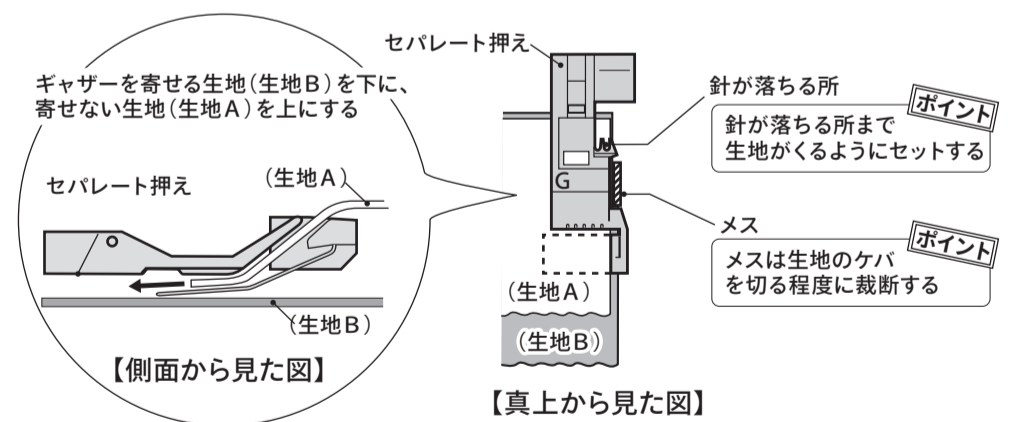
使用糸数	使用針	メス	チェーン/カバー用テーブル	送り目	差動レバー	作品・用途	操作上の注意とポイント
2本針3本糸カバーステッチ	C-2 C-3	固定	使用	3mm	N	生地を盛り上げてアキュセントや飾りとして	ピンタックを入れる箇所に線を引く(あとで消えるもので、それを目安に縫う。生地によっては多少蛇行する場合があるので、その場合は手でサポートする。)

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

■ セパレート押え

二枚の生地を縫い合わせるとき、片方の生地だけにギャザーを寄せて縫い合わせることができます。生地を引っ張ったりしなくても、差動送りを使って、自然に好みのギャザーを寄せることができるので、ヨークの切替えやティアードスカートの切替え等に使うと便利です。

- ① 2本針4本糸のオーバーロックで縫います。
- ② 付いている押え金をはずして、『セパレート押え』を取り付けます。
- ③ 送り目を3mmまたは4mmにします。
- ④ 押え金を上げてから生地を下図のようにセットします。



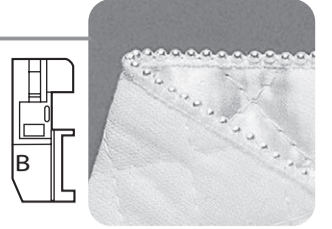
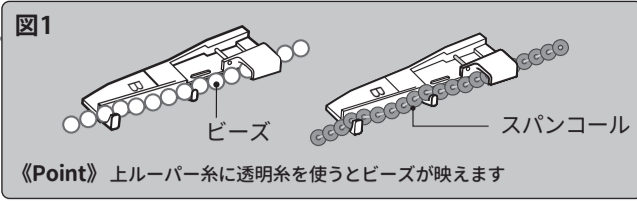
使用糸数	使用針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動レバー	作品・用途	操作上の注意とポイント
4本糸ロック	O-1 O-2	A	最大	4 または 3mm	2.0	エプロン等のギャザー、飾り縫い	ギャザーを寄せる方の生地(上図生地B)は、左に逃げやすく、また差動を入りやすいように手でサポートする。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

ビーズ押え

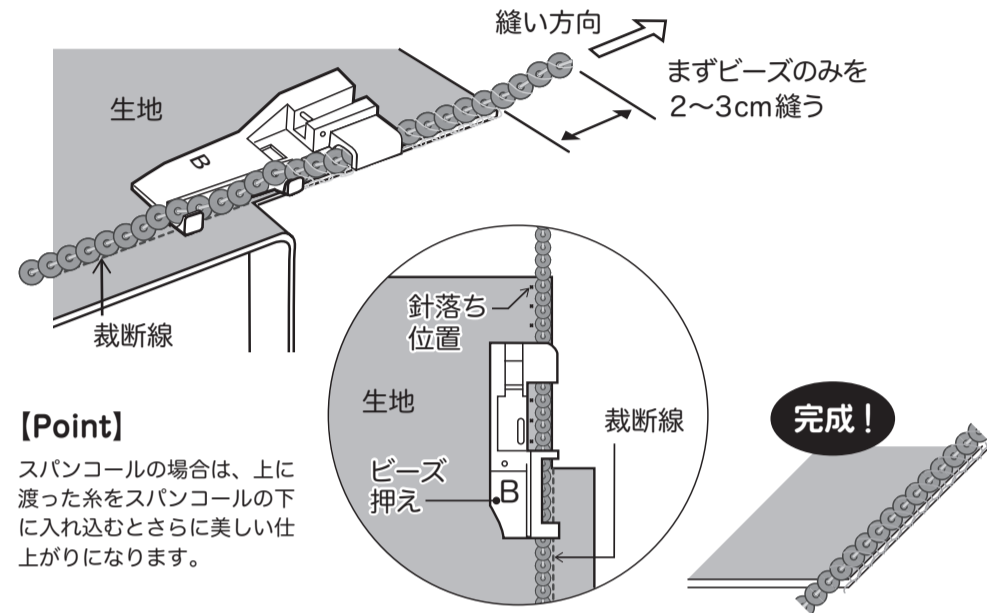
市販しているひも状のビーズ(直径4mm以下のもの)やスパンコールを縫い込むことができます。縫い方には下記の2通りのやり方があります。

※ひも状のビーズやスパンコールをここではまとめてビーズと呼称しています。



【生地の上に縫い込む場合】

- 1本針3本糸で縫います。(右針を使用)
- 最初に【図1】のようにして、「ビーズ押え」にビーズをセットします。
- 付いている押え金はずして、ビーズをセットした「ビーズ押え」を取り付けます。
- まずビーズのみをそのまま2~3cm縫います。(ビーズは縫い方向へ少し引き気味に持ちます)
- 次に生地を裁断線をメスに合わせて縫っていきます。(この時も④と同じようにビーズと生地を縫い方向に少し引き気味に持ちます)

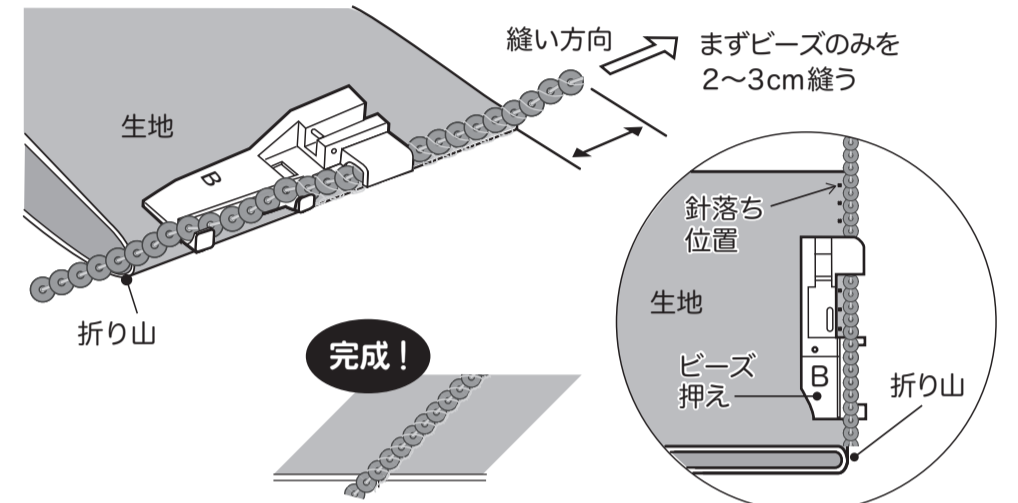


【Point】

スパンコールの場合は、上に渡った糸をスパンコールの下に入れ込むとさらに美しい仕上がりになります。

【生地の上に縫い込む場合】 ※1本針2本糸ロックまたは平縫いで使用

- 1本針2本糸で縫います。(右針を使用)
- 最初に【図1】のようにして、「ビーズ押え」にビーズをセットします。
- 付いている押え金はずして、ビーズをセットした「ビーズ押え」を取り付けます。
- メス固定ツマミで上メスを固定します。
- まずビーズのみをそのまま2~3cm縫います。(ビーズまたはスパンコールは縫い方向へ少し引き気味に持ちます)
- 生地のビーズを入りたい部分を山折りにし、その山の頭に針が落ちるように縫っていきます。(この時も⑤と同じようにビーズと生地を縫い方向に少し引き気味に持ちます。)



使用糸数	使用針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動レバー	作品・用途	操作上の注意とポイント
3本糸ロック	O-2	B	ビーズやスパンコールの大きさに合わせて	3mm	N	子供服の衿の飾りやドレスの飾りとして	ビーズやスパンコールをカットしないように低速でゆっくりと縫う。メスロックをすると縫いやすい。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

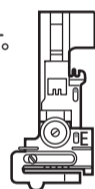
使用糸数	使用針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動レバー	作品・用途	操作上の注意とポイント
2本糸ロック	O-2	B	ビーズやスパンコールの大きさに合わせて	3mm	N	ドレスの飾りとして	最後に生地を開くため、縫い目を少し浮かせ余裕を持たせておく。そのため生地を固定したメスより2mm程度左に寄せて縫う。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

■ ゴム押え(テグス入れ兼用)の使い方

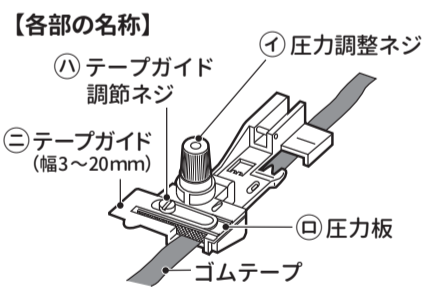
【ゴムテープの入れ方】 最大20mm幅のゴムテープが使用できます。

縁かがりと同時に市販のゴムテープを縫い込むことができます。水着やショーツ作りに便利です。



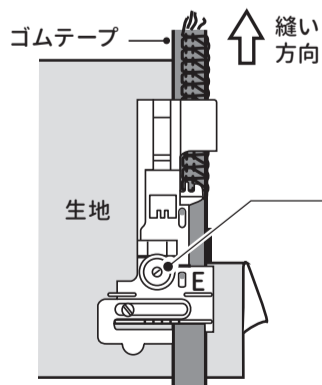
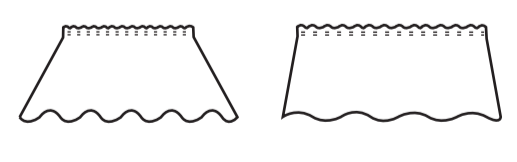
ゴム入れ

- 2本針4本糸で縫います。(1本針3本糸でも縫うことができますが、その場合はかがり幅を4mm以上にします)
- 『ゴム押え』にゴムテープをセットします。
 - ①をゆるめ、②の下にゴムテープをはさむ。
 - ①をゆるめ、ゴムテープの幅に②をあわせてから①を固く締める。
 - 最後に①を軽く締める。
- ミシンに付いている押え金を取り外し、『ゴム押え』を取り付けます。
- 最初にゴムテープを2~3針縫い、続いて布地を入れて縫い始めます。



《圧力ネジ①の調節の仕方》

- 時計方向にまわすと縮み量が多くなる
- 反時計方向にまわすと縮み量が小さくなる



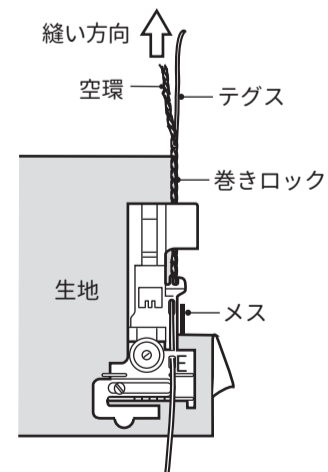
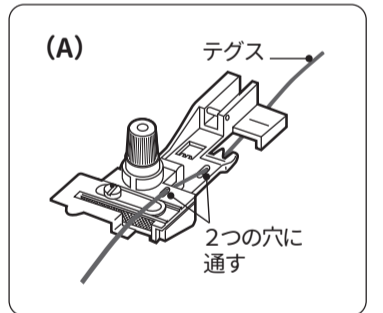
【テグスの入れ方】

巻きロックをするときにテグス(釣糸)を縫い込んで、張りをもたせることができます。ドレスやコサージュ作りに最適です。



テグス入れ

- ミシン本体を巻きロック(1本針3本糸)に切り換えて空縫いし、空環を2~3cm出しておきます。
- 右の図(A)のように『ゴム押え』にテグスをセットします。
- ミシンに付いている押え金を取り外し『ゴム押え』を取り付けます。
- 空環とテグスを縫い方向に軽く引きながら、テグスに糸をからめて2~3cm縫います。続いて布地を入れて縫い始めます。このとき、テグスと空環は縫い方向へ軽く引っ張っておきます。



使用糸数	使用針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動レバー	作品・用途	操作上の注意とポイント
4本糸ロック	O-1, O-2 or O-1	4本糸はA 3本糸はB	最大(ゴム幅に合わせて)	4mm	N	レオタード、ベチコート等	シャーリングのポリウムは①圧力調整ネジで行う。縫い始めはゴムがくい込みやすく、手を添えて注意する。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

使用糸数	使用針	切換ダイヤル	かがり幅	送り目	差動レバー	作品・用途	操作上の注意とポイント
3本糸ロック	O-2	C or D	M以上	巻きロック 1~1.5mm	N	巻きロックのコサージュ、ドレスの裾	バイアスで布地が外れる時はかがり幅M以上で行う。縫い上がりムラがある時は中央から手でしごく。

※数字は標準値です。生地や糸によって調整が必要です。

使い方説明動画を公開中 ※各種設定は本誌をご覧ください。

YouTube「ベビーロックチャンネル」
www.youtube.com/user/babylockchannel

